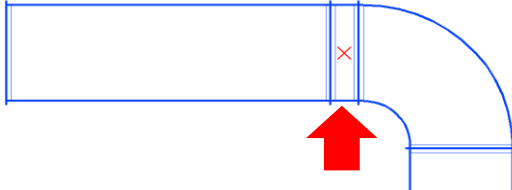


Q ダクトを作図すると「×」マークが表示される

A ダクトの作図規則を変更します

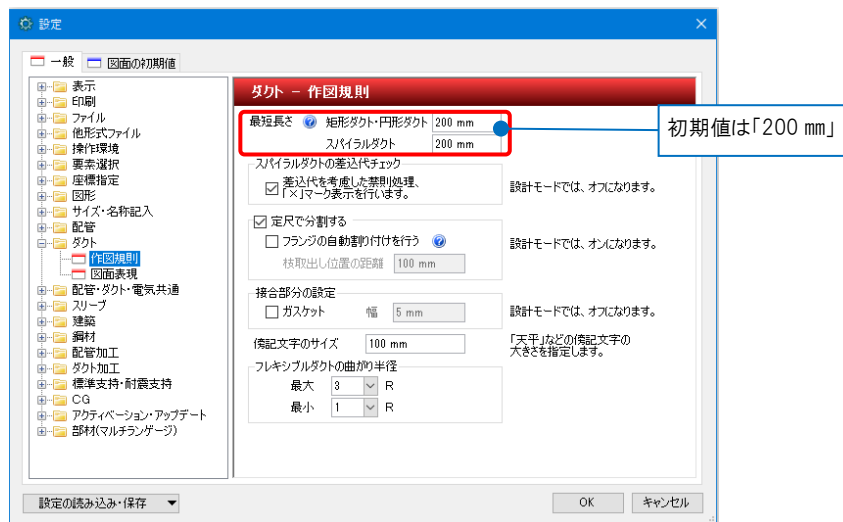
矩形ダクト・円形ダクト・スパイラルダクトには最短長さが設定されており、最短長さ以下のダクトには「×」マークが表示されます。また、スパイラルダクトの差込代チェックが設定されていると、差込代を考慮した禁則処理で「×」マーク表示を行います。



[設定]-[一般]タブの[ダクト]-[作図規則]を開きます。

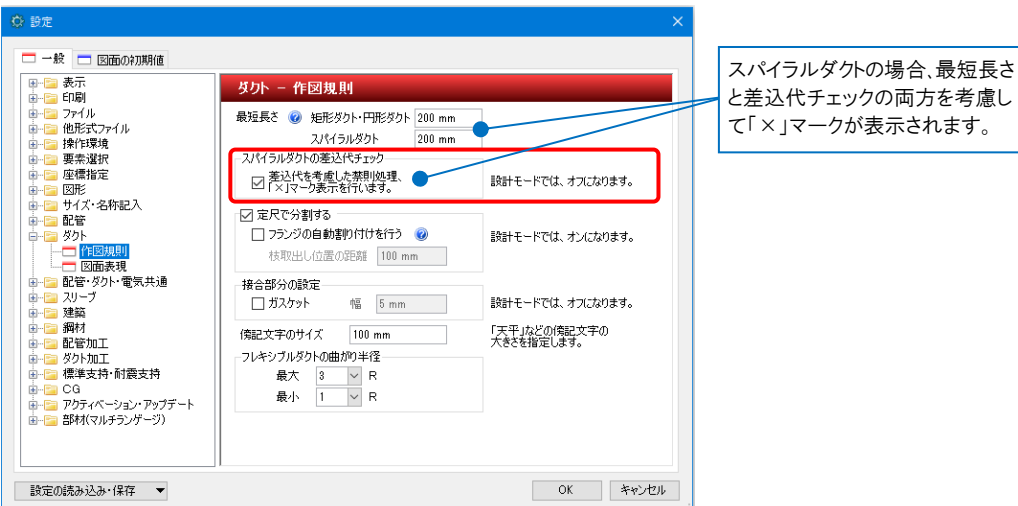
▼最短長さ(矩形ダクト・円形ダクト・スパイラルダクト)

直管の加工可能な最短長さを設定します。最短長さ以下になると、「×」マークを表示します。最短長さの数値を「0」にすると「×」マークが表示されなくなります。



▼スパイラルダクトの差込代チェック

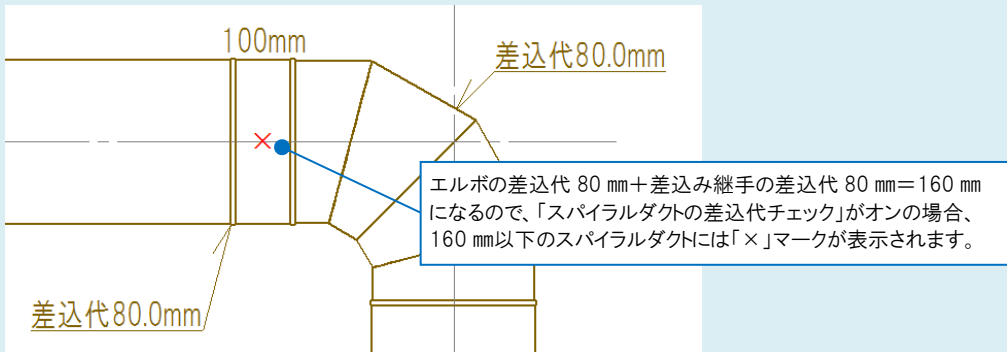
チェックが入っている場合、スパイラルダクト作図時に、差込代を考慮した禁則処理で「×」マーク表示を行います。チェックを外すと、禁則処理を行いません。



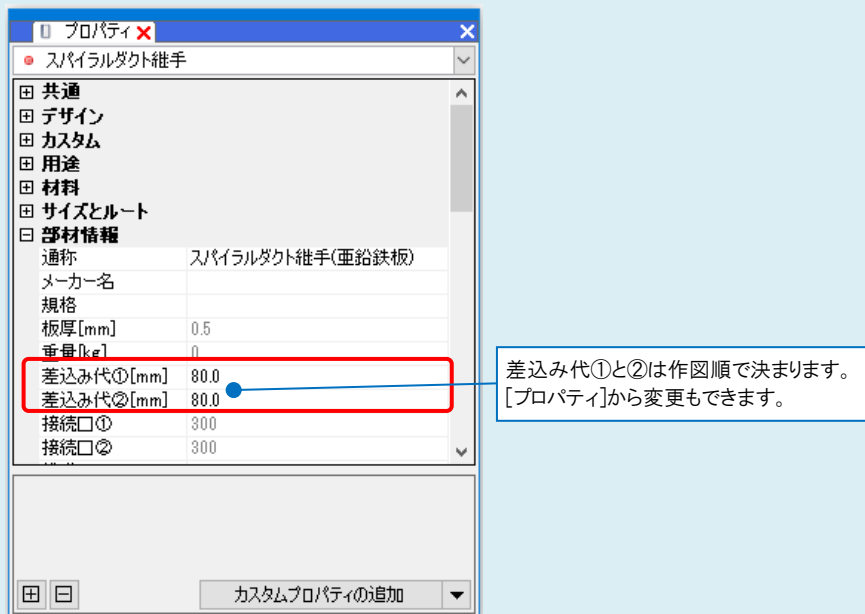
●補足説明

差込代チェックはスパイラルダクトの両端の継手の差込代が考慮されます。

例えば、エルボと差込継手の間にあるスパイラルダクトの場合は、両方の差込代を合計した値以上の長さがなければ「×」マークが表示されます。



差込代は継手の[プロパティ]で確認できます。



●補足説明

作図規則を変更せずに「×」マークを非表示にしたい場合は、「×」マークの表示/非表示をクリックしてオフに切り替えます。

